



京ヶ峰の四季

第57号

2017年新春号



平成29年元旦 幸田町三村神社にて

依存症や発達障害といった

“社会病”とでも言うべき問題が顕在化した現代日本。

そうした時代に精神科病院として何ができるか、

何をすべきかという意識を常に持ちつつ、一歩ずつ進歩を積み重ねながら

これからも地域医療に貢献してまいります。

明けましておめでとうございます。平成29年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

当院の昨年を振り返りますと、救急病棟におけるクリニカルパスの試行やストレスケアグループの立ち上げ、地域移行機能強化病棟の導入といったさまざまな試みに取り組んできました。本年もこの流れは変わることなく、新たな取り組みに果敢に挑戦していきたいと思っています。

一方で精神科病院をめぐる情勢が新たな時代に入ったとの感もぬぐえません。これまでは狭義の精神疾患への対応だけでよかったのに対し、近年は俗に“社会病”と言われるような疾患、たとえばアルコールや薬物などの問題、パーソナリティー障害や発達障害といった疾患が増加する傾向が顕著となり、精神科医療に新たな対応を迫っています。そのような状況に対し、精神科病院としてどう対応していくのか、どう臨機応変に行動し、どのように解決に貢献していくのかが問われています。これまでの延長線上では十分に対応しきれない時代が到来したと言わざるをえません。

私たちとしても「患者さまの幸せのために」という本来の目的を胸に刻み込んだ上で、常に勉強を怠ることなく一歩ずつ進歩を重ね、そうした問題に対するベストな解答を探り、微力ながらも地域医療に貢献してまいりたいと考えています。

時代は変わり、患者さまを取り巻く環境も変わっていく中で、一つの病院として、一人の医師として、あるいは一人の職員として何を考え、何をしていくべきなのかを自問しながら、従来の経験に捉われることなく新たな試みに挑戦してまいる覚悟です。

本年も昨年と変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(平成29年 新年交礼会 挨拶 抜粋)

京ヶ峰岡田病院 副院長 岡田京子

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～

精神保健医療福祉情報

昨年、岩手県にて開催された学術集会にて、当院より研究発表いたしましたので、広報誌にてご報告いたします。

第41回日本精神科看護学術集会 in 岩手 平成28年6月10日～12日

研究発表 『**排便を知って下剤を減らそう**－ 排便教室で変わった患者の意識－』
看護部 伊豫田 映子 後藤 良子

平成27年8月に愛知県支部での発表が終わった時、もうこれで終わった、と資料も破棄し、岡崎駅前で打ち上げをしました。ところが全国大会に私たちが選ばれ、本当に愛知県支部代表でいいのかと、戸惑いと不安でいっぱいでしたが、「旅行気分がいいのよ」と言われ、少しは心が落ち着きました。学術集会中の講演で印象深い言葉があったので、書いてみました。

精神病になった人は力を振り絞って生きている

精神病になる前に精神病だった人はいない

人の暮らし方には干渉してはならない

この言葉を聞いて、心に響くことはありませんか？

私は精神病という概念にこだわらず、一人の人間として付き合っていきたい。看護者は精神症状による苦痛を緩和し、患者さんが安心して治療を受けることができる環境を整え、自信の回復や自分の暮らしを取り戻すための支援を行っていきたい、と思います。

私たちの発表は「排便を知って下剤を減らそう」です。みなさんも便秘で困っていませんか？入院していると運動不足や、食事水分量の減少、薬の副作用で便秘を起こしやすく、下剤に頼ることが多いのです。そこで私たちは「どうしたら下剤を減らすことができるのか」と考え、排便教室、排便促進活動を行いました。



排便教室では、患者さんに便の出る仕組みや、食事が便になる時間を説明しました。紙粘土や味噌を使い普通の便を作ってもらい、普通便・軟便・泥状便・下痢便の説明をしたところ、いつも便秘だと言って下剤を飲んでいた患者さんが、実は下痢をしていたことがわかり、そこで下剤を減らすことができました。便の性状がわからない人には、味噌で作った便の量や性状を写真にとり、それを照らし合わせて確認してもらいました。薬剤師、管理栄養士の説明。薬の副作用や食事に関して質問し、いつもいるスタッフより真剣に聞いていました。

排便促進活動として、体操、朝コップ1杯の水を飲み、排便日記を書きました。6ヶ月の期間でしたが、便秘で困っている患者さんが知識を持ち、写真を活用して正しい排便、量、形状を理解できたと思っています。また、グループで行ったことで、便に対する不安や悩みを患者さん同士が共有でき、患者さん同士の会話や声をかけ合う姿勢、仲間意識が生まれました。便について知ろう、下剤に頼らないという同じ目標に向かって取り組むことが、患者さんの意識変化を生み、下剤を減らせた効果にもつながったと考えられます。便秘だからといってすぐに下剤に頼らず、いろいろ試してみてください。自分に合った解消方法があるはずですよ。

今回、看護研究をまとめるにあたり、ご協力、ご指導いただいた方々、そしてこの看護研究を評価していただいたことに心から感謝いたします。



病院TOPICS

社会的榮譽者表彰

当院の職員が院外の団体より表彰を受けましたので、院内表彰するとともに、広報誌にてお知らせいたします。



愛知県
精神保健福祉
協会長表彰

看護部・看護局長
森 澄美江

精神科の看護師として長年にわたり精神保健福祉の業務に尽力した功績が認められ、愛知県精神保健福祉協会より協会長表彰を授与されました。

交通安全
優良運転者
表彰

総務部
丸山 義光



長きにわたり無事故無違反の安全運転に徹し、岡崎警察署長・愛知県交通安全協会岡崎支部長・愛知県安全運転管理連絡協議会長より、交通安全優良運転者の表彰を授与されました。



不定期防災コラム ～ 地震への備え～

『栄養士からの季節のおすすめ』コーナーをいつもご愛読の皆様、申し訳ありません！今回はちょっとお休みをいただき、防災に関するコラムをお届けします。

さて、「東海地方」に住む我々は、年代によって差はあるかもしれませんが、物心ついた時から、学校などいろいろな場所で「東海地震が来るぞ!」と聞かされてきました…まるでなにかの宿命のように。最近では、「東海・東南海・南海3連動地震」とか「南海トラフ大地震」など、想定される地震の規模も、その語感も、ますます迫力を増してテレビや新聞紙上を賑わせています。グラツと揺れを感じるたびに、「ついに来たか!」と身構えることもしばしば。ただ、今のところ幸いなことに「東海地震」は発生しておりません。「本当に来るのか?」なんていう感覚すら持っている方も多いのではないのでしょうか？

しかしながら、確実に言えることは「いつかは来る」ということ。そして、来てしまってから「いろいろ準備しておけばよかった…」と後悔しても、あとの祭りだということ。明治～昭和の物理学者、寺田寅彦が言った(らしい)「天災は忘れたころにやってくる」ではありませんが、忘れることなく、油断せず、考え得る備えはしておかなければなりません。

昨今の災害事例から、ライフラインの復旧や、支援物資の配給が本格化するの、災害発生から4日後(72時間後)とされています。つまり、それまでの3日間は自分たちの生命は自分たちで維持する必要があるということになります。

備えておくべきことはいろいろありますが、まずは「物資」。その3日間の水・食料や生活必需品などを備えることが重要になります。災害の規模や範囲によっては、その期間がもっと長くなることもあり得ますが、各家庭や職場の保管スペースも無限ではありません。「最低3日分」を意識して備蓄するべきでしょう。



いざという時のためにルールを整備したり、事前に訓練しておくことも重要です。たとえば、災害が起こって連絡が取れなくなった場合の集合場所を決めておいたり、災害伝言ダイヤルの使い方を全員がわかるようにしておくだけでも、有事の際にかなり落ち着いて行動できるようになると思います。

家庭や職場など、その集団の規模や特性によって、細かい部分は変わりますが、基本的なことは同じだと考えます。ご自分の属する集団でも、いま一度「備え」の確認をしてみたいかがでしょうか？

…などと偉そうなことを書いておりますが、当院の災害への備えも、まだまだ足りないことばかりです。私も、当院の防火管理者・防災委員として、どんどん改善を提案していきたいと思っております。

総務部/大村

行事報告

2016年10月12日(水)
～16日(日)

希望展

名古屋市民ギャラリー矢田にて開催されました。20施設から約190点が展示され、当院からは13点出品しました。初日には患者さま10名と職員で観覧ツアーにも出かけました。



2016年
11月11日(金)

開院記念スポーツ大会

おかげさまで、11月11日、当院は78回目の開院記念日を無事に迎えることが出来ました。スポーツ大会など、患者さまと職員が一緒に楽しめるイベントを開催し、楽しい一日を過ごせました。



2016年12月20日(火)

クリスマス演芸会

院内京ヶ峰ホールにて開催しました。練習を重ねた患者さまの出し物、職員の余興などがあり、笑顔あふれる楽しいクリスマスを過ごすことができました。



2016年10月13日(木)

愛知県精神障害者スポーツソフトバレーボール大会

知多市民体育館にて開催されました。接戦もありましたが、失点での切り替えの良さで粘り強さで2勝し、県大会優勝となりました。



2016年
11月24日(木)
～25日(金)

デイケア 一泊旅行

行きに「蒲郡市生命の海科学館」を見学してから、西浦温泉にある旅館で泊まりました。食事や大浴場での入浴後は、遅くまで麻雀やトランプ、人生ゲームで盛り上がりました。



2016年12月21日(水)

デイケア クリスマス会

1ヶ月前から計画して、飾りつけなどの準備を行いました。当日は100名近い人数で、豚汁を作って食べ、スライドで1年を振り返り、ビンゴゲームで楽しみました。



2016年11月4日(金)

希望会ゲートボール大会

庄内緑地公園にて開催されました。当院からは2チームが出場。院外のゲートボール場でも練習した成果を発揮して、26チーム中ベスト8まで進むことが出来ました。



2016年
12月9日(金)
～11日(日)

第16回全国障がい者芸術・文化祭あいち大会

「なんだ!これは!」のテーマ展では、葵2階病棟セラグループ作品の「そら弁」を出展。メンバーそれぞれが食べたいものを詰め込んだ夢のお弁当です。陶芸コーナーには「私たちの代表選手」というタイトルで、陶芸活動に参加する5人が、思わずニヤッとしてしまうような個性的な作品たちを出品しました。



2016年12月27日(火)

餅つき

あいにく雨で、いつもより狭い場所での餅つきになりましたが、院長もみんなも笑顔で元気に餅つきが出来ました。



2016年11月8日(火)
～12日(土)

開院記念文化展

院内サニーホーム2階多目的室において開催されました。職員・患者さまが制作した作品が94点展示され、作品を通じて新たな発見がある展示会でした。作品の一部は、11月26日に開催された坂崎学区文化芸術祭にも出展しました。



2017年1月1日(日)

五社巡り

患者様、職員、職員家族、併せて約80名、元旦の6時から、みんなで幸田町内の神社に初詣に巡りました。今年も比較的暖かで、よい正月を迎えられました。



行事食

2016年
10月6日(木)

南病棟 行事食

葵弁、かき玉汁、
牛乳寒天、コーヒータン



2016年
11月14日(月)

葵3病棟 行事食

とろろと卵のオムライス、
コンソメスープ、
ポテトサラダ、チョコムース



2016年
12月1日(木)

葵1病棟 行事食

すき焼き煮、
ポテトサラダ、
おしるこ、ヤクルト



今月号のおすすめ

癒しの国 アイルランド



北大西洋に浮かぶ、小さな島国アイルランドをご存知ですか?お隣にあるイギリスに隠れてしまいがちなこの国ですが、実はたくさんの魅力にあふれた国なんです。

エメラルドグリーンと呼ばれるこの国は、温暖な気候から草木が枯れることがなく、1年中緑にあふれています。古代ケルト文化の全盛期から残る不思議な遺跡や古城、羊の群れ、街のどこからか必ず聞こえてくるアイルリッシュミュージック。また、妖精伝説の残る森や草原がいくつかあり、「妖精に注意!」なんて書かれた標識を目にすることもあります。フレンドリーで人懐っこいアイルランド人の国民性も魅力の一つです。電車やバスで隣に

座れば、必ずと言っていいほど話しかけられ、「この服とても素敵だね。」なんて言われます。ただ、電車やバスの時刻表が全くと言ってもいい程あてにならないのも、何でも適当でゆっくりに国民性の表れのような気がします(笑)仕事に追われ、目まぐるしい日々を過ごしていると、アイルランドで過ごしたゆっくりとした時間を思い出して、癒される時があります。皆さんも機会があれば是非、アイルランドを訪れてみてください。 PSW部 諫山

※次号は看護部の島田さんが担当します。よろしくお願ひします。

編集後記

今年は酉年ですね。「酉」(トリ)は「取り込む」に繋がると言われ、商売繁盛など縁起が良いとされているそうです。院内(院外?)にも昨年から2羽の軍鶏がいます。病院に何か良い事を取り込んでもらいたいものですが、闘鶏用、観賞用、食肉用と言われる軍鶏、さて当院の軍鶏は何用なのでしょう...? 広報委員 松原

